

その色は、
子どもたちの
安全を願う色
でした。

今日も静岡の子どもたちが手に持っている横断バッグ。
今から56年前に生まれました。経済の発展とも
に密着した横断歩道を歩かなくてはならぬ時代、子供に違
う子どもたちを車の事故から守りたいと、横断歩道に
ある黄色の横断の代わりになるよう考え出されました。こ
の横断バッグを考案した株式会社 花房商店 初代社長の
花房敏夫さんは新しいコトや物を書くことが大好きだっ
たそうで、黄色の横断のバッグの後ろ側には野井や松竹
やラングラー、可愛らしい動物のイラストが並んで描か
れていました。誰かを思いやる気持ちをも色に込めたし
い横断づくり。

静岡 COLORも、それは静岡の色のことを言うのではなく、
静岡の心を表わし、ここに静岡に暮らす人たちの「このこ
ろの色」なんだと思います。



■ 審査員特別賞 「思いやりのいろ、 しぞーかいろ。」

望月遥（プロフィックス）

【作品コンセプト】

最近、交通事故による痛ましい事件が、連日
のように報道されています。そんな中ふと目
に入った、静岡県民には見慣れた黄色の横断
バッグ。静岡 COLORと聞いて、私は真っ先
にこの色が浮かびました。子供たちの安全を
願うあたたかな気持ちが込められた、とても
素敵な、静岡ならではの色。その思いがより
多くの人に伝わるように、制作いたしました。